



市民講演会 開催レポート

- 日 時 令和7年3月16日(日) 14時～16時
- 会 場 クラフトシビックホール土浦 小ホール
- テーマ 写真が語る、いのちのバトンリレー ～在宅医療・看取りの現場から～
- 講 師 写真家・ジャーナリスト 國森 康弘 先生
- 参加者 109名

開会

講演に先立ち安藤真理子土浦市長から、「土浦市では、誰もが住み慣れた地域で、いつまでも自分らしい暮らしを続けるために、医療と介護、そして予防や生活支援が一体的に提供される地域づくりを進めているところです」と主催者挨拶がありました。



講演

講演では、曾祖母を看取る小学生の孫、故郷の自宅で最期を迎えたおばあちゃん、在宅医療を支える医師たちの姿など、看取りの現場を撮った写真を交えて、在宅医療・看取りの現場について、丁寧に話をさせていただきました。看取りは縁起のない話と遠ざけられる現在ではありますが、元気なうちから自身の最期を話し合っておくことで、つめたい最期ではなく、あたたかく次世代に命をつなぐことができるということを感じる講演会でした。



貴重なご講演、誠にありがとうございました！